

令和7年度

令和7年 11月吉日



# 中海小だより



小松市立中海小学校 校長 若山 直代

## ~11月の風~



二学期も後半に入りました。二学期は運動会などの大きな行事に加え社会見学や校外学習など体験的な学習も多く行っています。

学びは、新しいものに出会い自分から伸びていくことを実感できる、本来とても楽しいことです。しかし目的や意義が実感できないと「させられる」だけの味気ないものになってしまいがちです。体験的な学習が楽しく深く学ぶ機会になり、子どもたちの学習意欲をより高めることにつながればと考えています。

六年生  
金沢自主プラン



歴史を学習し、自分たちで考えたプランで回りました。

四年生  
ふるさと小松学習



歌舞伎についての施設を訪ねました

二年生遠足  
いしかわ動物園



獣医さんにたくさん教えてもらいました

一年生遠足  
秋をあつめて



木場潟公園で秋を集めて楽しみました

五年生  
施設見学



食に関連した三か所を見学しました

三年生  
消防所見学



社会科の学習内容をたっぷり体験しました

# 「遊び」がそだてくれるもの



「芝生の坂で子どもたちが遊び始めました。上に登って走って降りる。また上がってゴロゴロ転がって降りる繰り返しをただひたすら楽しんでいました。見ているだけで楽しかったです」と、一年生担任が遠足の後で話してくれました。

何か特別な遊具がなくても、自然発的に体を動かして楽しむことができるのは、子どもには本来体を動かすことへの欲求が備わっているからだそうです。

近年、遊ぶことの重要性が、研究結果のエビデンスをもとに話されるようになりました。特に幼少期の運動や遊びの経験に注目が集まっています。大人は体力増進・技術の向上などの目的をもって運動させたいと考えがちですが、純粹に夢中になって体を動かす経験から、子どもは様々なものを獲得していくようです。

遊ぶ中で獲得していく力は、ルールを工夫するなどの創造性、遊び相手とのコミュニケーション能力、協調性、うまくいかない時の忍耐力、感情のコントロールなどいろいろあります。これらの力は、社会情動的スキル（非認知能力）と呼ばれ、人生をよりよく生きていくのに必要な力だと言われています。

運動の得意不得意に関係なく、ただ夢中になって体を動かして楽しむ「子どもの今を生きる」経験が、未来につながる力を育てています。

おばあさんが種をひろって畑に植えました。  
王子様が、おばあさんが植えた『「みしのたくかにと』を食べたい』と言い出しました。  
子どもは楽しく、大人はちょっと考えさせられるすてきな絵本です。



おすすめの本  
「みしのたくかにと」

## 12月の予定

2日	石川県・小松市学力調査（3・5年）	11日	6年生バスケットボール交流会
5日	全校給食後12:30下校	16日	4年プログラミング教室
7日	2年親子レクレーション（atまい文）	17日	3年生そろばん教室
9日	人権集会	18日	町別子ども会
		23日	かすかみっ子まつり 希望個人懇談
		24日	2学期終業式

お詫び・・・発行日ぎりぎりまで粘っていたら風邪をひいてしまい12月にずれ込んでしまいました。  
皆様も体調にお気を付けください。

中海小 11月学校だより